

## 製品安全データシート

### 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	キレダー
製品コード	AK5003J
会社名	アグロ カネショウ株式会社
住所	〒107-0052 東京都港区赤坂4-2-19 赤坂サステイスト7F
電話番号	03-5570-4711 (所沢事業所:04-2003-7006)
緊急時の電話番号	同上
FAX番号	03-5570-4708 (所沢事業所:04-2003-7302)
メールアドレス	<a href="mailto:toiawase@agrokanesho.co.jp">toiawase@agrokanesho.co.jp</a>
推奨用途及び使用上の制限	農薬(除草剤)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	可燃性固体	区分外
	自然発火性固体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入:粉じん)	区分3
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2A
	皮膚感作性	区分外
	発がん性	区分1A
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器系)
環境に対する有害性	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器系、腎臓)
	水生環境急性有害性	区分1
	水生環境慢性有害性	区分外
※記載がないものは「分類対象外」または「分類できない」		

#### ラベル要素

#### 絵表示又はシンボル



#### 注意喚起語

#### 危険有害性情報

危険  
 皮膚に接触すると有害のおそれ  
 吸入すると有毒  
 強い眼刺激  
 発がんのおそれ  
 呼吸器系の障害  
 長期にわたるまたは反復暴露による呼吸器系、腎臓の障害  
 水生生物に非常に強い毒性

#### 注意書き

【安全対策】  
 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。  
 粉塵等の吸入を避けること。  
 保護眼鏡または保護面を着用すること。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 使用前に取り扱い説明書入手すること。  
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 指定された個人用保護具を着用すること。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。  
 粉塵等を吸入しないこと。  
 環境への放出は避けること。

**【応急措置】**

気分が悪いときは、医師に連絡すること。  
 吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。  
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。  
 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。  
 取り扱った後、手を洗うこと。  
 暴露又は暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当てをうけること。  
 暴露した時、または気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
 漏出物を回収すること。

**【保管】**

施錠して保管すること。

**【廃棄】**

内容物、容器を都道府県知事／市町村の規則に従って、適切に廃棄すること。

**3. 組成及び成分情報**

単一製品・混合物の区別	混合物
成分及び含有量	
[有効成分]	
化学名又は一般名	2-アミノ-3-クロロ-1,4-ナフトキノ (別名ACN、キノクラミン)
分子式(分子量)	C <sub>10</sub> H <sub>6</sub> ClNO <sub>2</sub> (207.61)
CAS番号:	2797-51-5
官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	化審法: 4-390 安衛法: -
濃度又は濃度範囲	25%
[その他成分1]	
化学名又は一般名	シリカ
CAS番号:	14808-60-7
官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	化審法:(1)-548 安衛法:第57条の2(通知対象物質)
濃度又は濃度範囲	25%
[その他成分2]	
化学名又は一般名	鉱物質微粉、界面活性剤等
濃度又は濃度範囲	50%

**4. 応急措置**

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師の診断、手当てを受けさせること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類を取り除き、石鹼と多量の水で洗い流すこと。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合

直ちに水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

無理に吐かせないで直ちに医師の診断、手当てを受けさせること。

## 5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類  
棒状放水

使ってはならない消火剤  
特有の危険有害性

火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具  
および緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。  
漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。  
作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵等を吸入しないようにする。

環境に対する注意事項

風上から作業し、風下の人を待避させる。  
流出した製品が河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化方法・機材

回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。  
漏出物を直接に河川や下水に流してはならない。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

注意事項

みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取り扱う。

安全取扱い注意事項

屋外または換気の良い場所で取り扱うこと。

粉塵等を吸入しないこと。

眼、皮膚、衣類に付けないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管 保管条件

直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。

容器包装材料

施錠して保管すること。  
データなし。

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

粉塵やミストが発生する場合、局所排気装置を設置すること。

管理濃度

設定されていない。

許容濃度

(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

日本産衛学会(2009年版)

吸入性結晶質シリカ 0.03mg/m<sup>3</sup>

ACGIH(2010年版)

TWA 0.025mg/m<sup>3</sup>(石英)

保護具 呼吸器の保護具

適切な呼吸器保護具(保護マスク)を着用すること。

手の保護具

適切な保護手袋(不浸透性手袋)を着用すること。

眼の保護具

適切な眼の保護具(ゴーグル型保護眼鏡)を着用すること。

**皮膚及び身体の保護具  
衛生対策**

適切な保護衣(耐薬品性エプロン等)を着用すること。  
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

**9. 物理的及び化学的性質**

物理的状态	形状	粉末
	色	黄赤色
	臭い	無臭
	pH	5
比重(密度)		0.27 g/cm <sup>3</sup>

**10. 安定性及び反応性**

安定性	通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	通常の条件下では安定。
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	通常の条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。

**11. 有害性情報**

急性毒性	経口	ラット経口LD50 >5000 mg/kgに基づき、区分外とした。
	経皮	ラット経皮LD50 >2000 mg/kgに基づき、区分外とした。
	吸入	吸入(粉じん): ラット吸入(粉塵)の4時間暴露 LC50 >1.73mg/Lに基づき、区分3とした。
皮膚腐食性・刺激性		ウサギにおいて皮膚刺激性がみられなかったことから、区分外とした。
眼に対する重篤な損傷・刺激性		ウサギにおいて眼刺激性がみられ、適用14日以内に回復したことから、区分2Aとした。
呼吸器感受性又は皮膚感受性		皮膚感受性: モルモットにおいて皮膚感受性がみられなかったことから、区分外とした。
発がん性		区分1Aに分類されるシリカをカットオフ値の0.1%以上含有することから区分1Aとした。
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)		区分1Aに分類されるシリカをカットオフ値の10%以上含有することから区分1とした。
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)		区分1Aに分類されるシリカをカットオフ値の10%以上含有することから区分1とした。

**12. 環境影響情報**

水生環境急性有害性	コイLC50 (96時間)	2.76 mg/L
	ミジンコEC50 (48時間)	7.64 mg/L
	藻類EC50 (72時間)	0.054 mg/L
水生環境慢性有害性		急性毒性が区分1であるものの、生物蓄積性が低いと予想されるため、区分外とした。

**13. 廃棄上の注意**

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

**14. 輸送上の注意**

国際規制	海上規制情報	IMOの規定に従う。
	UNNo.	3077

<p>Proper Shipping Name</p> <p>Class</p> <p>Packaging group</p> <p>Marine Pollutant</p> <p>航空規制情報</p> <p>UNNo.</p> <p>Proper Shipping Name</p> <p>Class</p> <p>Packaging group</p> <p>国内規制</p> <p>特別安全対策</p>	<p>ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID,N.O.S.</p> <p>9</p> <p>III</p> <p>-</p> <p>ICAO/IATAの規定に従う。</p> <p>3077</p> <p>ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID,N.O.S.</p> <p>9</p> <p>III</p> <p>輸送に関する国内法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。</p> <p>輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。</p>
--	---

**15. 適用法令**

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	該当しない。
毒物及び劇物取締法	該当しない。
労働安全衛生法	第57条の2(通知対象物質):シリカ(政令番号312)
農薬取締法	第13870号

**16. その他の情報**

**財団法人 日本中毒情報センター**

散布作業中や散布後に異常を感じた場合は、直ちに医師の手当てを受けてください。  
処置法などで不明なことは、医師から下記に電話してお尋ねください。

中毒110番	一般市民向け	医療機関専用有料電話 (1件につき2,000円)
大阪 (365日, 24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日, 9~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999

- 記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
- 注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
- 記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。